

プロモニター、音のいぶきをより自然な
レスポンスで。オーディオリスナーの耳が
求めたカスタムモデル、登場。

620B & 604-8H

CUSTOM CUSTOM

ALTEC
LANSING



ALTEC
LANSING
CUSTOM



604-8H_{CUSTOM}&620-B_{CUSTOM}誕生。

エンジニアがめざす、熱い血と心の通ったユニットは、やはり手造りでなければ、生まれてこないのでしょうか。マスプロダクションでは不可能な優れたユニットを真に音楽を愛し、シビアな耳をもつ日本のファイルの方へお届けしたい。これはALTEC社が長年描き続けた夢の実現であり、今回のCUSTOMモデルの誕生により、ファイルの夢とエンジニアの心が今まで以上に通じあえるようになったのです。この604-8H CUSTOMユニットは、ALTEC技術陣の中心的人物、ボールスブランガーの陣頭指揮により開発されたもので、独自のファインチューニングが成されています。その大きな違いは、ホーン部に共振止めが施され、フェイズコヒーレント方式がネットワークに導入されたことにより、よりナチュラルな再生を実現したことです。同軸型ユニット特有の定位のよさとも相まって、音楽の表情は期待を超えて鮮やかに、刻明に聴くものの心をとらえます。更にマグネットは、依然としてアルニコ・マグネットを低音部、中高音部の2箇所にセパレートで使用しているのも特徴です。アルニコの世界的高騰の折、貴重品ともいえる存在です。この604-8H CUSTOMは、高度な音楽ファンを自認するあなたには、最良の贈り物といえるでしょう。



★604-8H CUSTOMをお求めの際は、CUSTOMプレートに御注意下さい。ユニット裏側、ホーン開口部、ネットワークに表示されています。
★エンクロージャーは、このユニットの特性にマッチした620B CUSTOMをお選び戴きますと、620B CUSTOM/604-8H CUSTOM プロフェッショナル・モニターシステムが完成します。

●フェア期間中は、本会場L館エレクトリ・ブースへ是非お出掛けください。

第29回全日本オーディオフェア '80.10.15・19(一～三・日)
入場料 ¥200(前売) ¥300(当日) 東京・横浜 主催: 日本オーディオ協会 TEL(03)403-6649

アルテックランシング輸入代理店  Iwatt

〒161 東京都新宿区上落合1-18-3 03(950)6266(代)

理想のデュプレックス。

ALTEC
LANSING

繊細な音質は多く人に感動を与えます。

620Bカスタムはスタジオモニターのもつ優れた特性に、

音楽的な響きや広がりを加味した2ウェイモニタースピーカーシステム。

銘機と呼ばれるいつものモニタースピーカーを打ち出してきたアルテックならではの完成度です。

磨き抜かれた高音域から、ワフルな低音域まで見事に再生。

ステージの臨場感がじかに伝わってきます。



620B CUSTOM

スピーカーシステム ¥430,000

アルテックのトップエンジニア、ポール・スランガーによって、620Bモニターシステムがオーディオファイルのために、特にファインチューニングされたカスタムモデル。ネットワークにフェイズコヒーレント方式のアイデアを導入。マンタレーホーンは効果的にダンプされ、よりクリアな中高音域が得られていま

す。また、キャビネットのダクトは綿密に再チューニングされたため、スムーズな特性とワイドレンジ化に成功。もちろん、アルニコマグネットを高域、低域にそれぞれ使用して、抜群の高効率を発揮する構成や、同軸複合型の、「定位の良さ」などは変わりなく、モニターシステムとして一層リファインされました。



●カスタムモデルの発売を記念して、このシステムをお買い求めいただいたお客さまに、ポール・スランガー氏のサイン入りオーナーズプレートをプレゼントします。

エレクトロバブコ市販製品取扱い

株式会社 バイス (BAES)

〒102 東京都千代田区平河町2-16-15 TEL.03-230-3625代

●バリエーション/アンプ関係954-5001/スピーカー関係950-6104

●取扱いブランド アルテック/スレッシュド/ゴールドバグ/モンスタースペーカブル/シンメトリー/タンベルグ/エレクトロアコースティック・エラック/プラズマトロニクス
☆カタログをご希望の方は200円切手同封の上、ご請求ください。

Printed in Japan

雑誌 08501-2

ALTEC
LANSING

620B Custom/604-8H Custom

カスタムモデル新登場

ALTEC LANSING
620B CUSTOM

ALTEC LANSING
604-8H CUSTOM



ALTEC LANSING

620B CUSTOM 604-8H CUSTOM

Professional Monitor Speaker System

ALTEC LANSING
620B CUSTOM 604-8H CUSTOM
Professional Monitor Speaker System

ALTECのトップエンジニア、ポール・スプランガー氏の手によって、620Bモニターシステムが、マニアの音楽再生用に特にファインチューニングされ、カスタムモデルとして新登場。ネットワークにフェイズコヒーレント方式のアイデアを導入。マンタレーホーンは効果的にダンプ。キャビネットのダクトは綿密に再チューニングされたため、より一層スムーズな特性とワイドレンジ化に成功。同軸複合型の「定位の良さ」やアルニコマグネットを低域、高域にそれぞれ1個使って抜群の高能率を発揮する構成、仕上げの良いツツカットオークのキャビネットなどは変わりません。——— 定価 ¥430,000

●カスタムモデルの発売を記念して、このシステムをお買い求めいただいたお客様に、ポール・スプランガー氏のサイン入りオーナーズプレートをプレゼントします。お知らせ 828C キャビネットが、マイナーチェンジされ、828E となりました。

●取扱いブランド アルテック/スレッシュホールド/ゴールドバグ/モンスターケーブル/シンメトリー/ケンベルグ/エレクトロアコースティック/エラック/プラズマトロニクス

※カタログをご希望の方は200円切手同封の上、ご請求ください。

エレクトリック・プロダクツ株式会社

株式会社 **BAES** (BAES)

〒102 東京都千代田区平河町2-16-15 TEL.03-230-3625

ALTEC Professional Monitor Speaker Systems

620B
718A



620B Monitor Speaker System





★ALTEC製品には、広範囲の保証がされています。
エレクトリでは、米国ALTEC社より日本に於ける製品の保証
サービスを委任されています。取扱店へ出荷する場合でも、
一個一個に細心の注意を払い動作特性等をチェックし、その
証として、エレクトリシールを貼ってお届けしております。万が
一、動作不具合や構造上の欠陥などを生じている場合は、一週間
以内にお買い求めの販売店へお知らせ下さい。良品交換、あ
るいは不良部品の交換修理を無料で行います。
以後のメンテナンス・サービスの受付は、全国のALTEC 取
扱代理店で行っております。

ALTEC社製品日本総輸入代理店

 株式会社 **エレクトリ**

〒161 東京都新宿区上落合1-19-1 キンファミカビル301(03)4264 94

718A Monitor Speaker System



伝統ある プロ・モニターの系譜604 その頂点のモデル、604-8H 搭載の最新プロモニター・システム。

ALTEC
620B
718A
Professional Monitor
Speaker Systems

時代の推移と共に、プロフィールドに於けるモニターシステムの選定基準も異ってくるものです。確かに一時期欧米のスタジオも含めてマルチウェイの3ウェイ、あるいは4ウェイのモニターが、主にミュージシャンに対するプレイバック効果の上で、もてはやされた時代がありました。確かにスタジオで収録したものを即、プレイバックした場合に、それなりの効果を生み出すスピーカーは、ある種の説得力をもつのです。レコーディングエンジニアとしては、当然のことながら自身の録

音したものは、演奏したミュージシャンに高く評価されたいという意志が働くものであり、そんな状況から、即座効果の上でスピーカーが歓迎されていた理由もなづけるのです。しかしミュージシャンへのデモンストレーション効果を主眼としてプロがモニターを選定してしまったら、厳格な検聴用であるべき苦のプロモニターが、実は一般の鑑賞用スピーカーと何ら変わらない意図で選ばれていたということにもなりかねません。アマチュアの世界では、明らかに再生系に類する機器の筆頭といえるスピーカーも、プロの見地からは、これを基準としてミキシングをし、ミックスダウンを行い、編集作業を行わなければならない重要な音決めを行う検聴用の機器である以上モニタースピーカーは、むしろ録音系の範中に入る機器であり、そこに鑑賞用のシステムとは一線を画す歴然たる相違点が存在するのです。そして現在、マスターリング技術が驚くべき進歩を遂げ、まさにアナログからデジタル技術化時代へ突入しようとする趨勢は、これらのプログラムソースにも充分対応できる新時代のモニターが要求されることとなり、高次元の録音ソースの音の良し悪しを確実に判断でき、しかも、音楽のかたちを正確に捉えることのできる、よりシビアなモニターの選定をプロの耳は強いられることともなったのです。

■モニター・ユニットの理想を具現した604-8H
新時代の理想のトランスデューサーと呼ぶに相応しいスピーカーユニット。ましてやそれがプロモ

ターのそれともなると多くの問題点を抱括し、今までの水準は、ある意味では未完成の域にあったといえるかも知れません。特に最新の立上りの速いミュージックソースや、デジタル録音ソースなどのモニターともなると、過渡応答特性の遅れや軸上外の高域指向性の悪化、マルチウェイの異なる発音源から生じる音像定位の乱れ、そして位相シフト等の要素が著しく音の判定基準を妨げ、悪影響を及ぼします。それらの問題解決を計るためには長年に渡る技術の蓄積を基盤としたテクノロジーで、一つ一つ地道に問題解決を計らねば、完成の域には達し得なかったのが現状です。原典604から培われた数々の先行テクノロジーが結集され、いま一つの頂点を極めた、ALTECの新鋭デュプレックス・ユニット604-8H。604時代から継承する、独自のモニタースピーカーの形態、同軸複合構造はそのままに、最新のマンタレーホーンを装備。しかも話題のタンジェリンまでを内装した中高域ドライバーは、今までの2ウェイでは至難とされていたハイエンドの伸長と、高域エネルギーの均一拡散を実現したのです。しかも全帯域に渡る位相同転を極小とさせたことは、以前から定評のあった音像定位感に一段と磨きをかける結果となり、類例の無いほどディテールの緻密な表現力も向上しているのです。更に、プロモニターとして考える全ての必須条件を完全にクリアしたこの604-8Hの出現は、単なるリプロデューサーの域を超えた、真の意味でのプロモニター・ユニットの誕生ともいえるのです。



東京目黒のバイオンP.S.C. CENTER録音スタジオ



位相変化を生じない、モニターの実理想形態、 604-8H独自のデュプレックス構造。

■620B/718A定格

- 再生周波数帯域 20 - 22000Hz
- 許容入力(連続プログラム) 45W
- VCインピーダンス 80/400Hz
- 出力音圧レベル(音JIS) 103dB/W
- クロスオーバー周波数 1.5kHz
- 外形寸法(H×W×Dmm) 1020×600×460
- 総重量 68.5kg
- 使用ユニット 604-8Hデュプレックス

■620Bはウォルナット全面仕上げを備えサラネット
718Aは前面ブラック・パフ仕上げ、半透明サラネット仕様
のモデルで、両機種とも諸特性は変わりません。

■ALTEC社では、常に製品の改良を行っているため、意見及び仕様を予告なく変更する場合がございます。

■604-8H専用ネットワーク

位相特性に留意し専用設計されたネットワークは、ALTEC長年の開発技術が生んだダイコライザー位相補正回路が搭載されています。スイッチでノーマルの2ウェイの状態と、懸垂補正回路が投入された状態とに可変でき、10kHz以上のハイエンドをリスニング位置に合わせて調整することが可能です。



■604-8Hの高性能を活かした620B&718A。

極めつけの性能が備った604-8Hを、完全にチューニングされたモニター・エンクロージャーに収納したシステムが620B、718Aの両システムであり、モニターシステムとして最高の性能が発揮できるよう徹底した配慮が成されています。

特に604-8Hの諸特性をコンピューター解析し、設計されたエンクロージャーは、十分な内容積と吟味された板共振特性、完璧なバスレフのポートチューニングが施されており、ローエンドの伸長と量感の伴った低域が得られています。しかも低域に於けるパルス応答にも敏感な応答特性を示し、極めて立上りのよいシャープな低音を再現、更にピークレベルの入力にも、許容ダイナミックレンジが広いために容易にクリップせず、マスターテープ、あるいは、コンソールからの直接出力のような、ダイナミックレンジの極度に広いソースのモニターにも、安心してご採用頂けます。

620Bと718Aはプロモニターとしての性能は勿論のこと、総合的な見地からも理想のトランスデューサーとしての能力を具現しています。その多彩で音楽を刻明に描ききる表現力には、思わず耳を奪われるものさえあります。この卓抜な能力はプロのエンジニアの方のシビヤな耳にも、更には高度の音楽ファンのニュアンスを重んじる耳にも充分答えられる音楽優先のモニター・システムです。

プロモニターの覇者、登場。

ALTEC 620B+604-8H Professional Monitor

音響技術革新の歩みは留まるところを知りません。プロ用モニターの世界的标准機として知られるALTECの604-8Gが最終のモデルと呼ぶにふさわしい604-8Hとなって出現。これを搭載した620Bモニターシステムは、はやくもセンセーショナルに業界の話題をさらっています。改良のポイントは新しい設計「マンダレー・ホーン」にあります。

これは旧来のホーン設計の思想を全く覆すいわば音の伝送状態を静から動へと変えることにより生れたもので、高域端での歪の解放と軸上外での位相シフトを極端に減らす結果となりました。そして、あの「タンジェリン・フェイズ・フラグ」の採用により高域再生のロスを大幅に改善。特に2ウェイでありながら従来に20KHzを超えてスムーズに伸長しています。更にネットワークにはデュアル・イコライザー方式を採用、中域、高域が別々にコントロールできるこの方式はあらゆる音場でのレベルセットに対応できるのです。これでもうステレオを聴く位置に限定

されることなく、たとえ軸上に位置しないリスナーでも完璧な音場再生が楽しめる。プロモニターとしても一層音像の定位感が明確に捉えられる訳です。まさに究極のモニターの名に恥じないシステムの誕生といえましょう。

ALTEC
LANSING

●6月発売予定

●アルテック・ランシング・オーディオ・インコーポレイテッド・アメリカ・カリフォルニア州・サンフランシスコ・カウンスィル・ビルディング・1000・サンフランシスコ・カリフォルニア州

株式会社 **エレクトリ**

〒104 東京都中央区新富1-13-1 TEL: 03-3542-5741